



教育後援会報

京都府立農芸高等学校

第42号
令和7年3月

発行 京都府立農芸高等学校 教育後援会 編集 同事務局

「あいさつ」

「農芸高校国際交流基金を支えよう！」

教育後援会長 中井順市



ご卒業おめでとうござい
ます。堂雪の功成つて卒業
式を迎えられることに心か
らお祝い申し上げます。

みなさんは、農業や環境
に関する学習活動や学校農業クラブ活動を通じて
得た科学性、社会性、指導性（三大活動目標）と
いう武器と、農業という産業が社会に果たすべき
目的や意義を学んだ若者として、社会に有為な人
材として貢献されることを期待しています。

第42回農芸祭が、「えがおどころ おどる 農芸
祭」明日のために、未来のために」をスローガ
ンに昨年の11月16日に開催されました。ここで教
育後援会では船南同窓会と協力して、国際交流基
金のための募金活動に初めて取り組みました。ご
来場のみなさんの温かいご協力でご寄付を受ける
ことができました。

この基金は、初代校長であった中村一郎先生が
運営委員長となり、昭和62年3月31日に地元のみ
なさんや関係者のご支援とご協力によって設立さ
れた、公益信託「京都府立農芸高等学校国際交流
育成基金」のことです。

受託者である三菱UFJ信託銀行が信託財産から
生ずる運用収益や信託財産の取り崩しをもって農
芸高校生を支援する「生徒たちの頑張りを応援す
る基金」です。教育後援会や船南同窓会として国際
交流基金を通して令和5年度の国内農業研修等に
延べ64名、海外農業研修（令和5年度は中止）の
参加費補助、そして、教育後援会だけで令和5年
度の資格取得意識を高める合格祝い金を補助（延べ
102名）など、意欲的な農芸生の様々な学習活動を支

える資金源となっています。しかし、生徒の学習や
研修活動の活性化は大変うれしいことですが、基金
は年々先細りになり、運用が難しくなってきました。
卒業生の保護者の皆さま並びに会員には、この
基金の趣旨と運用にご理解をいただき、引き続き
更なるご支援やご寄付を重ねてお願いいたします。

京都府立大学系属高校とし ての新たな出発に向けて

校長 湯川 佳秀



教育後援会の会員の皆
様には、ますますご健勝に
てお過ごしのこととお喜び
申し上げます。日頃は、本
校教育の推進に温かいご
支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、今年度の農業クラブ活動においては、校内
での活動はもとより、7月の京都府連盟大会、8月
の近畿連盟大会、10月の全国大会に生徒たちが活躍
し、それぞれの大会で入賞をすることができました。

11月には第42回農芸祭を実施し、約2,000人の
方々に来校していただき、大盛況となりました。農
芸祭では、教育後援会の皆様にも御協力いただき、
大変感謝しております。12月には2年生の研修旅
行（長崎県佐岐島）を実施することができ、天候に
も恵まれ、充実した研修旅行となりました。そのほ
か、3年生の進路達成の状況とともに、この1年間、
多くの教育成果が見受けられましたので、詳しくは
本会報の紙面をご一読ください。さらに、昨年度か
ら本校公式インスタグラムを開設しています。「が
んばる農芸高校生」の姿を通して、農芸高校の魅力
とともに、農業教育の魅力も感じていただけるよう
発信していますので、是非、ご覧ください。

昨年9月6日には、西脇隆俊知事から2026

年度（令和8年度）より本校を京都府立大学の系
属高校にすると発表していただき、その後、10月
29日には京都府立大学と京都府教育委員会との系属
高校に関する協定調印式が実施されました。今後
は具体的な高大連携の内容や入学選抜方法など
についてより一層協議を進め、京都府立大学系属
高校としての新たな出発に向けて万全の準備をし
て参りたいと思います。

結びに、教育後援会員の皆様には、本校教育の
推進に、今後ともご支援を賜りますよう、よろし
くお願い申し上げます。

京都府立大学系属高校化へ

（設置時期：令和8年4月）

農学食科学部（農学生命科学科）との高度
な連携による質の高い学びを表現し、農業や関
連産業の振興に資する人材育成を推進します。

※系属高校：特定の大学と連携関係を持つ中等教育を行う学校
で、大学を運営する学校法人とは別の学校法人等により運営
され、連携する大学に対し一般受験者とは比べ優先的入学を認め
られているもの。

Instagram・ホームページで 学校の魅力を発信中!!

Instagram



Instagram

ホームページ



学校HP

ります。

第42回 農芸祭報告

農芸感謝祭では新たな取り組みとして、ゲームや出し物を通してコースを中心とした生徒間の交流を促す「交流の部」と、食を通して日々の学習に関わる生命・人・時間すべての環境に感謝する「感謝の部」に分けて実施しました。

今年度の農芸祭は「ECO」をテーマに設定し「E（えがあと）・C（ころ）・O（おどる）農芸祭」のスローガンを掲げて実施しました。レジ袋の代替に各家庭より紙袋を集めて配布する活動や、各コースでのゴミ削減に取り組むなど生徒たち自身も考えて行動する農芸祭となりました。夏の暑さや水不足などで生産物の確保が難しいコースもありましたが、何とか多くの品目をそろえることができました。また、今年度は展示や体験なども注目を集め、農芸高校の魅力を発信することができました。

第一体育館において府内農業高校特産物販売ブースの運営をはじめ、国際理解教育基金の募金活動など農業教育の魅力を充実させる活動にお力添えをいただき、農芸祭の取り組みの幅を大きく広げていただきました。今後とも学習成果発表の場として位置づけつつも、農芸高校及び農業教育の魅力を多くの方に発信していく農芸祭にご協力いただければ幸いです。



令和6年度 農業クラブ活動報告

1. 第75回 京都府学校農業クラブ連盟大会〔ガレリアかめおか〕7月24日

《プロジェクト発表会》

分野	発表題
I類	イネの再生二期作の試み～地球温暖化を味方にした栽培方法の模索～
II類	持続可能な農業における環境調査および生物多様性に関する評価方法の検討
III類	優秀 ひとの心に植物を植える～地域を花咲むフラワーキャラバン～

《意見発表会》

分野	発表題	発表者
I類	最優秀 時代に求められる和牛生産を	伴 藍花
II類	最優秀 牛が守る美しい国土	中井 蒼空
III類	優秀 乳牛の力 畜産の力で京都を元気に	黒澤 花歌



府連大会



緑の学園 乳牛審査の部

《平板測量競技会》〔北桑田高校〕7月26日

【優秀】3年生チーム 五嶋 奏太、近藤 悠吏、藤井 隆太郎

2年生チーム 黒田 智基、丸岡 雅春、吉田 烈

《和牛審査競技会》〔碓高原牧場〕8月9日

【優秀】大矢 桃子、岡本 大地

《緑の学園 乳牛審査の部》〔府立農業大学校〕7月26日

【最優秀】内田 望愛 【優秀】坂本 慶榮、伴 藍花

《農業情報処理競技会》〔須知高校〕8月23日

岩井 潮、奥田 祥一郎、辻本 幸悠

2. 第72回 近畿学校農業クラブ連盟大会〔兵庫県〕8月21、22日

《意見発表会》

【優秀】II類 中井 蒼空

3. 第75回 日本学校農業クラブ全国大会〔岩手県〕10月23～24日

《家畜審査競技》

【優秀】乳用牛の部 内田 望愛

《農業鑑定競技会》

【優秀】野菜 今橋 祐樹 【優秀】畜産 大矢 桃子

【優秀】農業土木 近藤 悠吏



全国大会 家畜審査競技

全国大会 農業鑑定競技

レシピコンテスト

4. 第2回京のこだわり畜産物レシピコンテスト

【優秀】奥田 陽葵、甲斐 朋恵、原田 柊

5. 第6回アクション大賞

【奨励賞】畜産流通コース

6. 京都府「障害者週間」啓発ポスター及び体験作文コンクール

【体験作文の部 佳作】中村 仁美音

7. 今年度を振り返って

今年度は京都府学校農業クラブ連盟の事務局となり、夏の府連大会は運営係として多くの農芸高校生が参加し大会運営を行いました。2つの区分で最優秀を獲得し近畿連盟大会に出場しました。岩手であった全国大会には農業鑑定競技会と家畜審査競技会（乳用牛の部）に合計9名が参加し4名が優秀賞を獲得しました。京都府全体の優秀賞が7つだったので好成績といえます。令和9年度には全国大会が滋賀県で行われますが、滋賀県より依頼を受けて意見発表会は農芸高校が担当することになっています。今後とも農業クラブ活動に御支援いただきますようお願い申し上げます。

農芸祭 運営協力

今年度も教育後援会と同窓会が協力して「府立高校農業科生産物販売」を運営し、来場者の駐車場案内等にもあたりました。また、今回から国際交流育成基金の募金活動を行い、来場された方や地域の方、卒業生などから寄附をいただきました。募金いただいた方にはアيسプラント(野菜)の種を配布し、喜んでいただいています。



がんばる農芸生 資格取得奨励制度

昨年度から始まった生徒支援事業、生徒はキャリアアップを目指しチャレンジしています。

- 【合格実績 (R5年度)】
- 英語検定 (2級1名, 準2級1名)
- 危険物取扱者 (乙4類1名)
- 日本農業技術検定 (3級43名)
- 情報処理検定 (1級1名, 準2級5名, 3級15名)
- 園芸装飾技能士 (3級5名)
- バイオ技術者認定 (3名)
- 色彩検定 (3級4名)

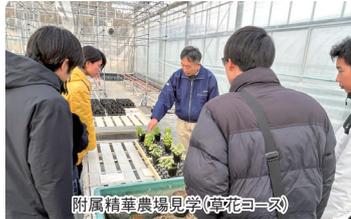


府立大連携

- 造園技能士 (2級4名, 3級7名)
- 造園施工管理技術 (2級学科4名)
- 造園技能検定 (3級1名)
- 土木施工管理技術 (2級学科1名)
- 鉄筋施工技能士 (2級)
- トレース技能検定 (3級5名)



研究室訪問 (生物工芸コース)



附属精華農場見学 (障花コース)



府立大生の畜産体験実習 (畜産系コース)



酒米「京の輝き」共同研究 (作物コース)



農業技術交流会 (2年生)

中国地区・全日本B&W オールニッポン・ホルスタインコンテスト 《全国1位》



知事・教育長表敬訪問

令和6年4月、岡山県で開催されました第39回中国地区B&Wショウにおきまして、本校の乳牛「グロリーオーサクリーメルクラツシヤブルフライラ号」が、リザーブグラウンド・チャンピオン(総合準優勝)を獲得しました。多くの卒業生の想いを引き継ぎ努力してきた結果、最優秀高校賞(10回目)をいただきました。また、静岡県で開催された、2024セントラルジャパホルスタインショウでは、「学校・グラウンドチャンピオン」を受賞、学生リードマンコンテストでは、2位(黒澤花歌・2年)、3位(中井蒼空・2年)のW受賞。「フライラ号」が、最終選考におきまして2年連続となるリザーブグラウンド・チャンピオン(総合準優勝)を獲得しました。第42回オールニッポン・ホルスタインコンテストにおいては、3歳前半の部で「フライラ号」が、全国1位を獲得。全国有数の酪農家が名を連ねるなか、農業高校出品牛の部門優勝は大会記録上初の快挙であり、京都農芸の名を全国に響かせることができました。今まで乳牛に携わってきた多くの卒業生、支えていただいた多くの皆様に深く感謝します。今後も、生命を扱



セントラルジャパン ホルスタインショウ

台湾研修

う魅力ある教育活動の推進を図り、本校で学んだことを将来生かす「生きる力」を育み、生徒自らが夢に向かって邁進できるよう、特色ある学校づくりに努めています。



コロナ禍により開催を見合わせていた「海外農業研修」ですが、5年ぶりに台湾を訪問することができ、国立曾文高級

農工職業学校と交流を図ることができました。12月24日からの4日間、校長を団長に生徒8名(うち1名は北桑田高校生)が参加し、中井教育後援会長と農業教員OBの小林先生にも随行いただき、実り多い研修となりました。また、5月の曾文農工訪日時には本校へ訪問いただき、全校生徒と交流会を行いました。今後にも可能な範囲で研修を積ませたいと考えています。



部活動および 農業クラブ 専門部

硬式野球部

硬式野球部は夏に行われる選手権大会での1勝を目標に、日々厳しい練習に取り組んでいます。一昨年度は17年ぶりに1勝することができましたが、昨年、今年度と力及ばず1回戦での敗退となりました。しかし、新チームで迎えた秋季大会は1点差の惜敗、練習試合では近年最多の勝利数で秋季を終えることができました。これらもひとえに農芸高校野球部の礎を創り上げてきた卒業生や先生方、そして支援して下さる皆様のおかげと感謝をしております。来年度も引き続き単独チームとして出場し、再び「夏1勝」を達成することを、選手・顧問一同本気で目指しています。今後、硬式野球部への御理解・御協力を宜しくお願い申し上げます。



陸上競技部(フィールド競技部門)

陸上競技部(フィールド競技部門)は、2年生2名とマネージャー1名で活動しています。2年生のうち1名は投てき種目を専門とし、春季大会、市内ブロック予選会、高校総体、京都IH、Summer Game、京都ジュニア、国公立大会など、数多くの大会に出場しました。特に国公立大会では自己ベストとなる42・95mを記録し、目覚ましい成長を遂げています。また、木曜日と金曜日には南丹高校で合同練習を行い、投てき専門の教員から直接指導を受ける機会を設けています。この指導を通じて、技術の向上や競力の強化を図っています。選手たちは日々の練習の中で課題に向き合いながら、次の大会に向けて努力を重ねています。引き続き皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

サッカー部

サッカー部には3年生4名、2年生2名、1年生2名の計8名の生徒が所属しています。一人一人のモチベーションや目的意識が大きく違つたため、個人個人にとって有意義な活動となるような運営を心掛けています。公式戦には田辺、洛水、西乙訓高校との4校合同チームで出場しています。冬の選手権大会では1



パワーリフティング部

回戦で同志社国際高校に0-5で敗れてしまいました。平日は本校グラウンドで練習を行い、週末は合同チームとの合同練習や練習試合を行うこともあります。人数は少ないですが、一人一人にとっては大切な活動となっています。皆様のご支援により、より充実した活動につながっております。今後ともご支援・ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。



パワーリフティング部は2年生2名、1年生6名で活動しています。創部より掲げる「心優しき力持ち」をモットーに、競技の強さだけではなく、パワーリフティングを通して人として成長することを大切にしています。昨年12月に開催された「第8回関西高等学校秋季クラシックパワーリフティング選手権大会」には部員全員が出場し、多くが自己ベストを更新することができました。今回の大会では、ここ数年で最も多くの関西の高校生が出場し、生徒達も他校の競技仲間・ライバルが増えたことに喜びを感じていました。2月24日〜26日には、世界大会(コスタリカ)の選考会である、ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会(滋賀県)が開催されます。世界大会への出場を目指

バスケットボール部

生徒が出場予定です。引き続き皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。



バドミントン部

バスケットボール部は、2年生6人、1年生5人で活動しています。チームの目標が「公式戦3回戦出場」で、目標達成ができるようチームの課題を一つ一つ解決しながら、日々練習に励んでいます。今年度の成績としては、リーグ戦で1勝、新人戦は1回戦突破したのみとなります。高校から始めた生徒も多く、まだまだ発展途上なチームですが、試合の度に成長し、最近チームワークも良くなりました。2年生は来年度の9月で最後の大会となります。それまでに目標の達成を選手・顧問一同目指し、今後も応援してもらえらる部活動として、メリハリのある活動を心がけていきます。

昨年度は、部員無しからのスタートでしたが、昨年1年生だった部員も2年生になり、新たに新入部員を迎えて部活らしい体制が整いました。現在の1年生は10名おり活動時はコートに3面使用して、活発に練習しています。高校生から始めた生徒がほとんどの中、園部高校や亀岡高

校との合同練習や、地域のバドミントン大会に参加するなどして、校外からの刺激を得ながら自分のプレイ技術向上とともに人間性も磨いてほしいと願っています。今後とも部活動に御支援いただきますようお願い申し上げます。

硬式テニス部



本年度は、1年生の新人部員が7名入部し、2年生6名と合わせて、13名で活動することができました。人数も増え、テニスコートに活気が戻ってきました。初心者の部員も多いですが、今年も近畿予選大会、公立校大会、全国選抜予選大会、京都府高校選手権大会と、公式戦にもフル参戦することができました。また、丹波自然公園において園部・亀岡・峰山高校との合同練習会も行い、お互い大変良い刺激になりました。次の春のインターハイ予選で新3年生は引退となります。最後まで全力で団体戦1勝をつかみ取りに行きますので、引き続きのご支援よろしくお願いいたします。

卓球部

卓球部は4月当初1名所属していましたが、入部する生徒がいまませんでした。現在、所属する生徒はいません。今後、部員募集に力を入れていきますので、よろしく申し上げます。



剣道部

剣道部では、部員が2年2名、1年1名、顧問3名、コーチ1名で、日々稽古に取り組んでいます。昨年度のIH予選では、創部以来初の団体戦勝利を収めることができました。段位取得にも積極的に取り組んでおり、部員2名が二段を取得しました。2名とも高校から剣道を始めた部員で、地道に努力を積み重ねた結果、合格に繋がりました。顧問・コーチ4名全員が有段者で、指導体制も充実しています。また、顧問自身も昇段を目指し、稽古に参加し、生徒たちと切磋琢磨しています。夏季休業中、他校の剣道部と本校で合同合宿を行っています。150名近くの剣道部員が集まり、剣を交えることで、心身共に鍛える機会となりました。人数は少ないですが、休日は他校へ出稽古や練習試合に行くなど、部員たちは、大会・昇段に向けて日々頑張っていますので、今後とも応援をよろしく願います。



茶道部

3年生3名、2年生1名の計4名で、本校卒業生の岡本真由紀さんの指導のもと、毎週木曜日の放課後に活動しています。お茶の作法とおもてなしの心を学ぶため、集中して稽古に取り組むよう常に心がけています。しっかりお茶の作法を学び、来年度はどこかでご披露できればと考えています。今後とも温かい御支援をお願い申し上げます。



合唱部

合唱部は現在3年生2名で活動しています。毎週金曜日には亀岡高校で合同練習を行っています。舞台にあがり発表を行うときには実質十数名の合唱団となります。現在は3月25日に行う予定の亀岡高校・農芸高校・東輝中学校合同の定期演奏会に向けて練習に励んでいるところです。大会以外では、夏や秋は地域の祭りでの演奏、クリスマス



植物バイオ部

には園部駅でのコンサートにも出演しました。現在の3年生が卒業してしまうと、部員がいなくなってしまうのが懸念事項ではありますが、地域や学校の方に喜んでいただける演奏を行うために最後まで心を込めて演奏します。よろしく願います。

無菌操作による植物の増殖や、温室で多肉植物の栄養繁殖を主に行いました。授業などでも行ってきた生物調査も放課後に行い、その成果を「ぎょうと生きものフェス」(府立植物園)で発表しました。環境保全型農業の実現に向けて引き続き、調査・研究を行いたいと思います。

草花部

草花部では授業で関わるのが少ない植物を栽培し、その活用方法に至るまで「草花と関わる経験」を積んでいます。今年度は3年生2名、2年生3名、1年生1名で活動しました。ロスフラワーを使ったハーバリウムは地域に広まっております。ハーバリウム講習会に指導者として参加しました。今年度はドライフラワーをポスターカードに飾る体験をしたり、ドライフラワーのおみくじを体育祭で配ったりと多くの方に草花部の花々に触れていただくことができました。花壇苗の栽培管理



は部員のみで行い、責任を持って栽培した花苗で校内花壇の植栽や近隣の保育園の花壇づくりに活用するなど、草花部の花々が地域を彩りました。また、農芸祭では草花部の作品展示会を実施し、草花部の活動を広報しました。部員は「たくさんの人に喜んでもらうために」と楽しみながら取り組んでいました。草花部の活動にご支援いただけることで、部員の関心をさらに刺激し農芸高校の専門部だからこそできる経験を積むことができています。今後ともよろしく願っています。

畜産部

畜産部は、男子2名・女子4名の計6名で活動をしてきました。京都農芸は京都府で唯一の「畜産が学べる学校」です。畜産部では「365日の徹底した飼養管理」をテーマに掲げ、畜産の知識や技術をより専門的に、より深く学んでいきます。今年度在籍する6名は、家畜飼育はもちろんのこと、多岐にわたる活動に積極的に挑戦してくれました。農業クラブ大会（意見発表・家畜審査競技会）やインターシップ（牧場）など、自らの可能性を広げるために努力し続けています。生き物を相手にする部活動だけに大変なことも多いですが、畜産部で培う「人間性」や「社会人基礎力」を武器に、広い世界へ大きく羽ばたいて欲しいと願っています。今後も精進して参りますので、変わらぬ御支援・御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

野菜部

野菜部では、「おいしい野菜づくり」をテーマに活動しています。主な活動時間は火・木曜日の放課後としており、自主性を重んじた



野菜の栽培に挑戦しています。春から夏にかけてはズッキーニやゴーヤのグリーンカーテンなどの栽培管理を行い、秋から冬にかけては、ニンニクの定植、コカブ・ミズナ・ホウレンソウのべたがけ栽培を中心に活動を行いました。季節折々の野菜に触れ合い栽培する楽しさを体験できたと感じています。来年度も部員が楽しんで野菜栽培に取り組める環境を整えたいと考えますので、引き続き御支援の程よろしく願っています。

造園部



11月に橋梁模型コンテスト（ブリッジコンテスト）が行われました。私たちはコンテス

環境部

造園部では、造園技能検定の取得と校内に植えられた樹木の剪定作業や実習場の管理、庭園施設の改修、補修など日々、校内の美化活動に取り組んでいます。今年度は昨年度の活動をベースに校内の環境整備から取り組みをはじめました。3年生を主軸に2年生に剪定の技法や作業内容など、これまで教わった剪定の技術を後輩たちに伝える機会になっています。校外活動では、近隣寺院の庭園管理を地域の方々と共に、地域に貢献する取り組みができました。さらには、作庭した都ホテル「ウエルカムガーデン」に年4回の手入れを実施して、めぐる季節感を感じてもらえるとともにたくさんの人に見てもらえる活動となりました。また、群馬県で開催された第19回「若年者ものづくり競技会」には京都府代表選手として出場して、敢闘賞に入賞することができました。第62回技能五輪全国大会は、目標とする入賞を果たすことはできませんでしたが、選手はこれまでに積み上げてきた技術を最大限に発揮して頑張ってくれました。

情報処理部



トに向けて、30kgの荷重に耐えられ、かつデザインも凝った橋梁づくりを目指しました。製作のスケジュールを立ててはいましたが、なかなか計画通りにいかず、少し妥協してしまふところもありました。結果は納得のいくものではありませんでした。イベント会場では様々な模型を拝見することができ、刺激を受けました。次回はさらに探求を重ねて、納得のいくものを仕上げたいと思います。

今年度の情報処理部は、1年生3名の新入部員が加わり、2年生4名、3年生3名を合わせ10名で活動してきました。ワープロや表計算のスキルアップや検定試験、農業情報処理競技会に向けた練習を行ってきました。また、オープンスクールの部活動体験では、部員がプログラミングにより製作したゲームを中学生に丁寧に説明し、体験してもらいました。京都府学校農業クラブ連盟の農業情報処理競技会が、8月に本校で開催され、3名が出場しました。残念ながら、入賞はできませんでしたが、よい経験になりました。

教育後援会 事業及び会計報告

令和5年度 教育後援会 事業報告

月	日	事業名	内容
6	3	代議員会	R4事業報告・決算、R5役員・事業計画・予算の審議と承認について
5	上旬	生徒募集広報活動支援	広報用ポスター作成・府下中学校配布
11	上旬	(海外農業研修説明会)	[中止]
11	19	農芸祭	開催協力(府立高校農業科生産物販売)
11	下旬	終身会費納入依頼	11・12月分で徴収
12	下旬	(海外農業研修助成)	[中止]
3	1	第39回卒業式	役員出席
4	9	教育後援会報発行	会報第41号発行
4	27	第42回入学式	役員出席 入会案内
4	27	役員会	次年度役員、代議員会について



令和5年度 会計決算

収入総額 2,310,291円－支出総額 1,916,926円 = 差引残額 393,365円 (次年度へ繰越)

収入の部

単位(円)

科目	本年度予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	134,488	134,488	0	前年度繰越額
会費	2,143,300	2,105,800	△ 37,500	通常会費 1,648,800円 終身会費 457,000円
寄附金	0	70,000	70,000	
事業収入	0	0	0	農芸祭売上
雑収入	212	3	△ 209	通常貯金利息3円
合計	2,278,000	2,310,291	32,291	

支出の部

単位(円)

科目	本年度予算額	決算額	比較増減	備考
運営費	73,000	43,742	△ 29,258	
事務費	28,000	23,742	△ 4,258	封書・葉書郵送料
会議費	5,000	0	△ 5,000	会議用茶代
渉外費	10,000	10,000	0	会長渉外費
旅費	10,000	10,000	0	会長旅費
慶弔費	20,000	0	△ 20,000	
事業費	1,090,000	834,608	△ 255,392	農芸祭 会報発行 研修事業
活動費	900,000	693,960	△ 206,040	横断幕
募集対策費	190,000	140,648	△ 49,352	オープンスクールポスター・ 臨時バス申請料
教育振興費	1,000,000	364,127	△ 635,873	
進路指導費	250,000	49,650	△ 200,350	進路指導用書籍
生徒指導費	20,000	0	△ 20,000	
学校保健費	200,000	9,848	△ 190,152	熱中症対策飲料
研究助成費	100,000	100,000	0	農業クラブ全国大会補助
生徒会援助費	30,000	30,000	0	生徒会活動補助
学力充実費	400,000	174,629	△ 225,371	図書館用雑誌、新聞、参考書
特別積立金	0	0	0	
寄附	100,000	100,000	0	資格取得助成
予備費	15,000	574,449	559,449	寮食費等不足分に充当
合計	2,278,000	1,916,926	△ 361,074	

令和5年度 特別積立金報告

単位(円)

科目	繰越額(a)	本年度積立額(b)	利子(c)	積立金合計(a)+(b)+(c)
特別積立金	250,000	0	0	250,000

令和6年度 教育後援会 事業計画

- 生徒の教育活動に対する支援(農業クラブ大会、ボランティア活動等)
- 生徒の部活動に対する支援(大会参加に係る援助)
- 国際交流に対する支援(京都府農業学科高校生海外農業研修)
- 進路指導に対する援助・調査研究(進路用書籍、インターンシップ)
- 生徒募集活動に対する支援(生徒募集広報用ポスター)
- 教育環境の整備に対する援助
- 各種行事(入学式、卒業式等)への出席
- 農芸祭等の行事への開催協力
- 資格取得奨励制度事業
- 教育後援会報の発行
- その他、本会の目的達成に必要なことを行う

活動計画

月	日	事業名	内容
6	1	代議員会	R5事業報告・決算、R6役員・事業計画・予算の審議と承認について
5	上旬	生徒募集広報活動支援	広報用ポスター作成・府下中学校配布
8	9	海外農業研修説明会	海外農業研修参加者説明会
11	16	農芸祭	開催協力
11	下旬	終身会費納入依頼	11・12月分で徴収
12	24~27	海外農業研修助成	京都府農業学科高校生海外農業研修(台湾)
2	28	第40回卒業式	役員出席
		役員会、選考会議	代議員会、次年度役員について
		教育後援会報発行	会報第42号発行
4	9	第43回入学式	役員出席

令和6年度 会計予算(案)

収入の部

単位(円)

科目	本年度予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	393,365	134,488	258,877	前年度繰越額
会費	2,065,900	2,143,300	△ 77,400	通常会費 1,670,900円 終身会費 395,000円
寄附金	50,000	0	50,000	
事業収入	0	0	0	農芸祭売上
雑収入	735	212	523	利子
合計	2,510,000	2,278,000	232,000	

支出の部

単位(円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
運営費	105,000	73,000	32,000	
事務費	30,000	28,000	2,000	封書・葉書郵送料
会議費	5,000	5,000	0	会議用茶代
渉外費	10,000	10,000	0	会長渉外費
旅費	10,000	10,000	0	会長旅費
慶弔費	50,000	20,000	30,000	香資料、弔電、祝電
事業費	1,120,000	1,090,000	30,000	
活動費	920,000	900,000	20,000	農芸祭 会報発行 研修事業
募集対策費	200,000	190,000	10,000	生徒募集対策費
教育振興費	1,030,000	1,000,000	30,000	
進路指導費	260,000	250,000	10,000	進路指導用書籍、 情報収集経費
生徒指導費	20,000	20,000	0	生徒指導経費
学校保健費	200,000	200,000	0	除菌剤、衛生用品、 熱中症対策飲料
研究助成費	120,000	100,000	20,000	農業クラブ全国大会生徒補助
生徒会援助費	30,000	30,000	0	生徒会活動補助
学力充実費	400,000	400,000	0	図書館用雑誌、参考書
特別積立金	0	0	0	
助成	200,000	100,000	100,000	資格取得助成
予備費	55,000	15,000	40,000	
合計	2,510,000	2,278,000	232,000	

● 会費及び寄附金についてのごお願い ●

本会は、在校生・在職教職員の会費と、卒業生・卒業生保護者の会費、一般会員の寄附金(1口1,000円)で運営されています。出費多額の折、誠に恐縮に存じますが、御理解の上、御支援、御協力いただきますようお願い申し上げます。

■一般会員寄附金 1口 1,000円 ■在校生・在職教職員会費 年7,700円

■卒業生・卒業生保護者会費 5,000円・3,000円(卒業時に納入)

※ 京都府立農芸高等学校教育後援会振替口座番号(京都 01080-1-9234)

令和6年度 3年生進路決定状況 令和7年2月現在

I.進路希望状況

Table with 5 columns: 学科, 就職, 進学, 未定, 合計. Rows include 農業生産科 (男子/女子), 園芸技術科 (男子/女子), 環境創造科 (男子/女子), and 合計.

II.就職内定状況

内定者延べ人数 ※右記企業名は順不同

Table with 8 columns: 学科, 農建設造園, 製造, 運輸通信, 卸小売, サービス, 福祉, 公務員他, 合計. Rows include 農業生産科, 園芸技術科, 環境創造科, and 合計.

- 【農・建設・造園】 山崎建設株式会社、一志株式会社、株式会社小林造園、テンフィールドファーム株式会社
【製造】 株式会社湖池屋(3名)、株式会社椿本チエイン長岡工場、ダイセルビヨンド株式会社、日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社、NISSHA インダストリーズ株式会社、ユニチカ株式会社宇治事業所、山崎製パン株式会社、株式会社仙太郎(2名)、玉乃光酒造株式会社
【卸・小売】 株式会社エイ・エフ・ジー
【サービス】 西日本高速道路メンテナンス関西株式会社(2名)、NXキャッシュ・ロジスティクス株式会社西日本支社、株式会社ワークステーション、千房株式会社、有限会社溪山閣、GSユアサソジェ
【福祉】 アサヒサンクリーン株式会社
【公務員】 国家公務員三種(近畿農政局)、京都市(土木)、京都府(農業)、南丹市(土木)

III.進学合格状況

延べ人数 ※右記学校名は順不同

Table with 7 columns: 学科, 国公立大学, 私立大学, 短期大学, 農業大専校, 専修各種学校, 合計. Rows include 農業生産科, 園芸技術科, 環境創造科, and 合計.

- 【国立大学】 鳥取大学(農学部)
【私立大学】 龍谷大学(農学部(2名))(法学部)、摂南大学(農学部)(理工学部)、近畿大学(農学部)、武庫川女子大学(環境共生学部)、大阪工業大学(情報科学部)、大谷大学(社会学部)、種智院大学(人文学部)、奈良大学(文学部)
【大学校】 京都府立農業大学校(2名)、北海道立農業大学校
【専修各種学校】 大和学園京都調理師専門学校(2名)、京都デザイン&テクノロジー専門学校(2名)、京都保育福祉専門学院、YIC京都ベッツ総合専門学校、大阪ECO動物海洋専門学校、大原鉄道専門学校
★受験予定 立命館大学、龍谷大学、岩手県久慈市地域おこし協力隊、阪神車両メンテナンス株式会社、株式会社ナベル京都本社

都ホテル「ウェルカムガーデン」

都ホテル京都八条より、八条通りに面したホテルエントランスの植込みを花壇にしてほしいと依頼を受け、造園コースにて計画から施工までを担当しました。数多くのアイデアを出し合い、これまでにない京都らしさを感じさせる、和の雰囲気漂う花壇が完成しました。この花壇は、ホテル利用のお客様はもちろん、観光客や歩行者の皆様にも四季折々の移ろいを感じていただけるような空間となっています。近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



インターンシップ



長期休業中にインターンシップに参加し、各コースの専門性を高めました。
[畜産系コース]
牧場 (岡山県笠岡市) 1名、(静岡県掛川市) 1名
[農業土木コース]
京都府建設業協会指定企業 6名

修学旅行～壱岐～

10月下旬に、長崎県の壱岐島に行ってきました。今回が初めての壱岐でしたが、島の文化・歴史にふれることができ、マリンスポーツも楽しむことができました。



つくば見学研修



昨年度、ニュージーランド大使館賞を受賞したデジタルコンテストにおいて、今年度は農研機構理事長賞をいただき、その副賞として筑波の見学ツアーに招待いただきました。園芸技術科の代表生徒2名が、ジーンバンクや植物工場、食と農の科学館を訪れ、最新技術の知見を広げました。

体育祭



6月の爽やかな青空のもと、クラス対抗で実施しています。競技に一生懸命取り組む生徒の姿に、クラスそれぞれが作成するTシャツが色鮮やかに一層映えます。